

令和7年度 第1回 富里市気候変動対策プラットフォーム
会議録（概要）

日時・場所	令和7年10月21日（火）15:00～17:00 すこやかセンター2階会議室1
出席者	<p>【出席者】※順不同</p> <p>委員 西廣委員、津田委員、大島委員、川野委員、橋野委員、中野委員、里内委員、相川委員、川嶋委員、平野委員、橋本（純）委員、吉木委員、岡本委員、竹内委員</p> <p>参加者 高氏（ミライフ株式会社）</p> <p>参加者 大坂氏（国立環境研究所 気候変動適応センター）</p> <p>五十嵐市長、細野経済環境部長</p> <p>事務局：藤田課長、関口主査、東門口主査補</p>
欠席者	<p>【欠席者】※順不同</p> <p>委員 瀬良委員、橋本（孝）委員</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員自己紹介・事務局職員紹介 5 富里市気候変動対策プラットフォームについて 6 意見交換 7 その他 8 閉 会
事務局 座長	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 — 挨拶後、他の公務につき五十嵐市長退席 — 4 委員自己紹介・事務局職員紹介 — 委員自己紹介・事務局職員紹介 — — 終了後、他の公務につき細野経済環境部長退席 — 5 富里市気候変動対策プラットフォームについて — 藤田課長 説明（富里市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を基に説明） — 6 意見交換 — 座長選出（座長 西廣委員） — <p>気候変動対策はとても幅が広く、また、プラットフォームとはどのようなことをする場なのかと感じている方もいると思う。</p> <p>今日の目標は、この場が何に使える場かを、みなさんが分かって終われたらそれで良いと思っている。</p> <p>プラットフォームの意味は、平らなところという意味であり、会議の形態も、例えば畳の部屋で膝を突き合わせて話し合うのが、本来の平たいプラットフォームかなと思っており、心の内では、皆さんと一緒に平らなところで話してい</p>

	<p>るという気持ちで進めて行きたい。</p> <p>私は、今年の7月に富里中央公民館にて「気候変動適応対策セミナー」を開催し、その中で、気候変動対策は2通りあることを話した。</p> <p>1つは、地球の温暖化を止めること。CO2の排出を減らして温暖化にブレーキをかけて行こうというもの。</p> <p>もう1つは、温暖化になり始めているので、気候変動や温暖化が進んでも困らない社会にして行こうという考え方で、例えば「暑い中でも休める場所がたくさんあれば、多少は被害が少ないのではないか」や「水害が増えてくる中、流域の中にいろいろ水が溜まる所があると大雨が降った時も下流の水害が減るといった考え方」があったりと、気候変動をすぐに止められなくても、困らない社会にしていく考え方があり、前者の地球温暖化を止めることを「緩和策」、気候変動になじんでいくのを「適応策」という言い方をする。その「緩和策」「適応策」2通りの気候変動対策があるという話をした。</p> <p>「適応策」の方は比較的簡単にできることもある。例えば、家の窓を二重ガラスにすることで、クーラーの効きを良くすることも一種の適応策と言える。</p> <p>対策を講じると聞くと、何かを我慢しなくてはならないといったイメージがあるが、そうではなく、対策を進めることによって、以前から気になっていた問題が解決したり、前よりも魅力的な街になったり、前よりも暮らしが豊かになることも考えて行けるのではないかという様なことをセミナーで話した。</p> <p>気候変動が進んでも、自分たちの生活がハッピーになるような対策を考えていけたらと思っている。</p> <p>気候変動対策を通じて、楽しい地域になるため、希望が持てる未来になるためになることを考えるきっかけになればと思っている。</p> <p>これから意見交換を行うが、方法として各自、付箋に意見を記入し、ホワイトボードに貼っていく。</p> <p>気候変動を深く関わって解決したいこと・気になっていること・困っていること・心配なことを出し合う。もう一つは、やってみたいこと・こんなことができれば良いのではといったことを出し合う。</p> <p>今回、委員の他に参加されているお二人にも一緒に考えていただければと思う。自己紹介をお願いしたい。</p> <p>— 参加者二名 自己紹介 —</p> <p>座長 「意見をたくさん出し合う。」「人の意見を否定しない。」「市への要望の場ではない。」「こんなことをやってみたいから、みんなでやってみないか」といった気持ちで書いて欲しい。</p> <p>各自、付箋に書いて、ホワイトボードに貼り、発表をお願いしたい。</p> <p>また、大坂さんに付箋のグループ分け等のとりまとめをお願いしたい。</p> <p>委員 夏、ものすごく暑いいため仕事の作業効率が落ちる。体調も悪くなる。他の方も同じように大変なのではないかと心配である。</p> <p>今まで見なかった生き物を見かけるようになった。</p>
--	---

	<p>子どもの数が減ってきており、様々な活動が大変になりつつある。</p>
委員	<p>放棄された谷津が増えてきて、風景が乱れている。谷津を綺麗にすると、生き物が増えて多様性が増し、風景が甦る。</p> <p>高齢化が進んでおり、放棄される森林、谷津、畑が更に増えるのではないかと懸念する。関係機関と協力して解決に導けたらと思う。谷津を綺麗にすることを子どもたちと一緒に行うことで、環境教育の一環になるのではと思う。</p>
委員	<p>10年後・20年後には、花蜂がいなくなってしまうのではと懸念している。気候変動の影響もあり、外来種が増えてきている。今年は梅雨が短く、雨が降る時期に降らず、降っても集中豪雨だったり、気象状況を懸念する。</p>
委員	<p>カメムシの大量発生による農作物への被害、外来植物が至る所で目に付く、雨の降り方が変わってきた様に感じる。一気に雨が降ると畑の土が流されてしまう。富里市は高崎川の上流があり、外来植物が水の流れて下流に行くことを懸念する。みんなで対策ができればと思う。</p>
委員	<p>養蜂を営んでいる。夏が早く、花の開花時期が早まっている。蜂の準備が整う前に花が咲き終わってしまう状況。自身で耕作放棄地を借りて、花の育成などを試みているが追いつかない状況である。ミツバチの巣に寄ってくる、スズメバチなども減少しているように感じており、もしかすると絶滅の恐れがあるのではと、危機感を覚える。夏は暑いものの、雑草は相変わらず繁茂しており、草刈作業に苦慮している。</p>
委員	<p>森林の荒廃が気になる。昔は森林でキノコが採れ、森林から薪を取り、森林の中をよく掃除していたが、時代の流れで、森林に目が行かなくなり、例えばスギの溝腐れ病が発生。その影響で荒廃が進んでいる。</p> <p>竹の繁殖力が強く、昔に咲いていたカタクリ等が竹に覆われてしまっている印象である。</p> <p>農地の荒廃は、地域の水田（稲作業）を辞める方が増え、イノシシやキョン、アライグマなど野生動物が近くにいることを耳にすることを鑑みると、本来あるべき農地が改めて荒廃してきていると感じ心配している。</p> <p>太陽光発電のパネルに至る所で見かける。太陽光発電なので良いことである一方で、パネルの乱立のように見受けられ、景観面等、気になるところである。</p>
委員	<p>雨の降り方が急激であると感じる。雨の降り方が急激だと、水の流れる量が変わるため、谷津にいるホタルの幼虫などが流されてしまうのではと懸念している。</p>
座長	<p>湧き水が安定しない等、想定される。</p>
委員	<p>富里の工業団地で40年、企業として飲料水を作ってきたが、この先も作り</p>

	<p>続けられるか、1日に2,000トン強の水をくみ揚げている地下水の枯渇する可能性はあるのか心配する。少しでも水循環に寄与できればと、今年の7月から、八ツ堀のしみず谷津の活動に参加しており、工業団地近くの谷津のグリーンインフラ整備を行っている。</p>
委員	<p>気候変動、気温の上昇等により、子供たちが外で遊ぶ機会が減り、子供たちの成長に影響が出るのではないかと懸念する。ひと昔前では、考えられなかった夏の異常な暑さを、今の子供たちは異常と感じず、当たり前となっていくことも懸念するところである。</p>
委員	<p>金融機関として、地球保全に資する商品を提供し、地球温暖化対策を支援している。個人的な見解となるが、改めて、気候変動を通じて困っていることと問われるとすぐに明確には出てこないのが本音であると共に、市民等にも同じような方もいるのかもしれない。私自身も含め、地球温暖化対策について、みんなが自分事として捉え考えていくことが大切である。</p> <p>気候変動による農作物の価格高騰による消費者の経済的負担、生産者の気候変動対策の負担、昨今の急激な気候変動に負担増となるのではと懸念する。</p> <p>夏、公園の滑り台を滑っている子どもがいないとニュースでみた。暑くて外で遊べない。致し方ない面もあるが、子どもの成長過程で、外で遊んで様々なことを学ぶことが制限されているようにも感じており、自然との共生という考え方の機運が高まる中、子どもたちの成長への影響を懸念する。</p>
委員	<p>仕事柄、感じることとして、エアコンの取り付け時期が早まっている。エアコンで室内を冷やすことは、室外機から熱が出ることであり、その熱が出なくするにはどうしたら良いかと感じている。</p> <p>太陽光について、夏場が一番発電していると思われがちだが、実際は温度が高すぎると発電量が下がる。目安、25度が最適な温度とされている。</p> <p>コンセントを挿して使用する一般家庭の電気は100V、大きなものでも200Vの電圧である。</p> <p>太陽光パネルをたくさん設置している周辺地域において、夏場の暑い時期では110～115Vの電圧が出力される場合がある。発電所等では電圧の調整をしていると聞いたことがある。</p> <p>大規模な太陽光パネルがたくさんあり、それが良いことなのかどうか気になる点である。</p>
委員	<p>正直、気候変動を意識して生活をしてこなかった。日々の気温が高く、それに対応していくといった考えであった。そのような考えであったため、今回のこの会議に参加し、学びたいと思った。</p> <p>農業経営の観点から、従業員の体調管理等の夏の暑さ対策が気になる。熱中症対策として、作業時の服装や飲料など費用的にも負担が増える傾向である。その辺りもみなさんと意見交換できたらと思う。</p>

委員	<p>同じく、農業経営の観点から夏の高温時の作業は過酷である。企業として通年雇用しており、夏場も作業している。暑さ対策の補助服も見かけるがその対策も限界が来ている様になっている。作物の高温障害について、今まで見たことのない高温障害がこれからも出てくるのではと心配である。</p> <p>害虫について、今まで越冬できなかった虫が、できるようになったりと今後害虫被害が増えるのではと心配する。</p>
参加者	<p>夏の雨の降りかたが激しくなっている。今まで冠水してなかった場所が冠水している様に見受けられ、耕作放棄地が増えていることも影響の一つなのではと感じている。ここ数年、春先の砂ぼこりの量が増えた様を感じる。</p>
参加者	<p>みなさんと同じ意見が多数あった。</p>
座長	<p>みなさん意見の中で、それぞれの分野の共通するワードがあったと感じた。次に、これからやりたいことの発表をお願いしたい。</p>
委員	<p>大きな百葉箱のようなものを建築し、涼しい場所を増やしたい。ひいては、私が所属している(社)千葉県木育コーディネーター協会で管理している「ちばのきのおもちゃ」の収納場所としても活用したい。</p>
委員	<p>お正月に飾ったものを焚き上げたり、餅を焼いたりする「どんど焼き」を、地域の子供たちと一緒に、田んぼの真ん中でやりたい。</p>
委員	<p>ヒートアイランド対策であるグリーンカーテン・屋上緑化・壁面緑化、地面もコンクリートでは無く雑草で整備したい。雑草であれば水分を保つ効果が見込まれ、壁面も屋上も蒸散効果で温度を下げ、併せて室内温度も下がることが期待できる。街全体が涼しくなるのではと思う。</p>
委員	<p>集中的な雨が降ると、池のように水が溜まる駐車場を見かけたことがあり、そこに雨庭を造ることができたら効果的だと思っている。雨庭は、一時的に雨水を溜め、ゆっくり地下へ浸透させていく庭である。まずは、市民等の目につく場所(駐車場や庭)に雨庭を造り、“こういうことが駐車場や庭でできるんだよ”といったことを様々な人に見てもらい、広めて行きたいと思っている。</p>
委員	<p>畑等の刈った草を有効活用できないかと考えており、有機堆肥づくりを今後やってみたいと思っている。</p>
委員	<p>自分の地域の田んぼの再生を目標とし、年に2回、地域で集まり、草刈等の活動を行っている。土地を相続した人が遠方であったりすると土地管理の意識が遠のいてしまう現状がある。そのような中であるが、地域全体の田んぼの復活を目指している。</p>

委員	<p>広葉樹と常緑樹の更新伐がしたい。ナラ枯れ病が原因の倒木を目にし、子供たちと活動するには、危ないと感じる。木が育つには、生えている樹種・大きさ等のバランスが必要であり適切な伐採を行いたい。</p>
委員	<p>竹林整備活動を行っているが、枯れた竹が多く、荒れている印象である。引き続き、整備を頑張りたい。</p> <p>今年、町内会の草刈り担当となった。500世帯のうち毎回の参加が7～8人、不在地や公園を整備しながら、活動の存続への不安や草刈り活動の重要性を改めて感じた。引き続き、頑張っていきたい。</p>
委員	<p>子供たちの環境意識の向上を高めるために、何ができるかを考えている。当社は、環境分野への取組を重要視しており、環境とエネルギーの出張授業を小中学生向けに実施している。機会があれば富里市でも実施できればと考えている。</p>
委員	<p>例えば、地球温暖化対策につながる企業間連携やJ-クレジットを活用した事業展開などのお手伝いができればと考えている。</p>
委員	<p>エアコン自体の効率を上げることに取り組みたい。</p>
委員	<p>みなさんが困っていることを事業に取り込み解決・貢献できないかと考えている。例えば、竹炭や竹酢液の知識はあるものの具体的な事業に発展してないため、この会議を通じて、事業につながる研究等ができればと思っている。</p> <p>また、ごみの分別の細分化、ごみを燃やす前の使い道・活用方法の検討が私自身のテーマであり、何か力になればと思っている。</p>
委員	<p>温暖化による農作物への影響や温暖化への対策などの要因は、売上等に直結することであるため、対策をみんなで行きたい。</p> <p>子供の運動会や体育祭を見ていて、子供たちの体力が年々、落ちている様子も見受けられ、心配している。</p> <p>外の暑さを避けるため、体育館で運動を検討しても予約でいっぱいのある。子供たちが運動・遊べる屋内施設があると良いと思う。</p>
座長	<p>皆さんの発表した内容のグループ分けを大坂さんから発表願います。</p>
大坂氏	<p>「街なかでできること」、「農地・森林からできること」「共通でできること」などに分けられる。「街なかでできること」としては、ヒートアイランド対策や緑を生かしたまちづくり、大雨対策や個人でのごみの分別など。</p> <p>「農地・森林からできること」</p> <p>後継者不足・荒廃の進行の懸念もあり、農地の利活用を進めたい。森林整備・活用をしていきたい。農地でのバイオ炭の使用、堆肥作り、どんど焼きなどイベントの開催など。</p>

	<p>「共通でできること」子供たちの遊び場の創出や環境教育の充実。 意見をグループ分けたが、グラデーションの様に共通する内容もあり、複合的考えることができる。</p> <p>座長 例えば、街なかで雨水を浸み込ませようとしたら、地面が固く、浸み込まない。堆肥等を使って浸透しやすくするための植物を育てる土質を作る考え方もある。</p> <p> また、竹林整備で出た竹を使用した「日よけ」や、耕作放棄地に生えている葦（あし）や、菅（すげ）を刈り取り、「葦を使った葦簀（よしず）」や「菅を使った菅笠（すげがさ）」を子供たちやみんなで作る等、発想を広げると様々なことができそうである。</p> <p> 農地・森・街のある富里市なので、皆さんの意見をつなげるような新しいアイデアを考えて行きたい。そのアイデアが基で、新しいビジネスやサービスが生まれたり、子供が外でも安全に遊べる場所が増えたりと将来への展望を話し合えたらと思う。</p> <p> 本日は初回の会議であり第一歩であるが、会議のスタイルとして、今後は具体的に一つずつ形にして行くやり方や、街中から考えるチームと農地・森林から考えるチームなど、各チームに分かれて考えて行くやり方、皆さんの知り合い等でその分野に精通した人・得意な人を呼んで、一緒に解決していくやり方等、この会議を、今、話してきたことを話し合う場にして行きたい。</p> <p> 皆さんから、意見あればお願いしたい。</p>
委員	<p> 例えば、竹林整備から出た竹炭や、耕作放棄地の草刈で出た草の堆肥をAGR Iブロードカントリー(株)さんで試験的に使用・効果検証し、(株)千葉銀行さんがJ-クレジットで協力する連携も考えられる。</p>
座長	<p> 畑の土壌改良につながる部分もありそうである。</p>
委員	<p> 新橋エリアの田園風景を蘇らせたいということもあると思うが、田んぼを誰かにやってもらおうとすると、ハードルが高いと思う。田園風景として、また、雨の対策として、水を溜められるように整備していく考えはいかがか。</p>
委員	<p> 昔は手作業が多く、田んぼに入れた。水を溜めて置くと機械が入れない。機械の効率を考えると、米を作っているのが一番良い。</p>
座長	<p> 目標は田んぼを蘇らせることで、それに向けまずは人が入れる道を作るところからとなるのか。</p>
委員	<p> 基本的に道は、それぞれの人が農道を刈っている。耕作放棄地になっているところを全部きれいにしていく方向で取り組まないと無理なのではと思う。今年度は、大型の機械を使って刈った。機械が入れない田んぼができてしまう。田んぼの地下に“水みち”というものがあり、水みちができてしまうと乾燥し</p>

	<p>にくくなる。その部分が徐々に深くなっていき、トラクターが入るとその部分で潜ってしまう。</p>
座長	<p>いろいろ相談が必要な部分が多いと感じた。今後もいろいろと教えていただければと思う。話し合ったことを徐々に具体化させていくために、必要な仲間を呼んでくることも視野に入れ、委員等のコミュニケーションの回数を増やしていければと思っている。</p> <p>事務局から今後のスケジュールを教えて欲しい。</p>
事務局	<p>今年度は本日の会議の他にもう1回、会議を開催する予定である。年明けの3月までのどこかのタイミングで開催したい。</p>
座長	<p>3月まで間が空いてしまうので、自主勉強会を開催したいと考えている。事務局で会議を設定するのが、今年度は2回であるが、その間に相談の場として、都合のつく方が集まるかたちで良いので、今日の意見をもう一步進めて行きたいと思う。そのようなかたちで進めてもよろしいか。</p>
委員一同	<p>意義なし</p>
座長	<p>場所の手配は事務局で行っていただきたい。</p>
事務局	<p>そのように支援していきたい。後日、日程調整表を送付させていただき調整して行きたい。</p>
座長	<p>今後、チームに分かれて議論するようになれば、もっと調整しやすくなると思うが、まだどのようなやり方で進めるかこれからなので、皆さんに日程を聞き、参加人数の多い日に自主勉強会を開催するといった流れでいければと思う。自主勉強会の1回目は、11月末もしくは12月初旬ころの開催でよろしいか。</p>
委員一同	<p>意義なし</p>
座長	<p>それではよろしくおねがいしたい。</p>
事務局	<p>— 日程調整表の送付・回答方法の説明 —</p>
委員一同	<p>7 その他 特になし</p>
	<p>8 閉会 — 閉会 17:00 —</p>